

10代の視点

横芝敬愛高等学校

高埜ほなみさん

今回の視察を通じて、消防署が展開している男女共同参画への取り組みに感銘を受けました。職場の内装の清潔さはもちろん、女性職員専用の施設など女性を受け入れる体制が十分に整えられ、職場体験や休暇制度においてもしっかりとした配慮がなされていて、ここなら安心して働くことができるとは思いませんでした。男女ともに勤務しやすい職場であるということがわかり、有意義な視察となりました。



食堂の見学

横芝敬愛高等学校

緒方瑠輝也さん

今回の視察で、言葉として聞いたことはあってもあまり理解できていなかった男女共同参画について学ぶことができました。女性消防士が泊まれる部屋が新しく増設された建物を見学しましたが、浴室にシャワーだけでなく浴槽がついていたり、洗面台の高さが男性の施設に比べて低く設置されたりしていて、快適に過ごせそうだと感じました。他にも消防機材の軽量化など、女性職員の活躍を想定した取り組みがありました。消防組合の取り組みを多くの人に知ってもらい、女性消防士が増えることを願います。



女性専用スペースを見学

推進員の視点

千葉県男女共同参画地域推進員

伊藤清美さん

同行した生徒の中に、「消防士になりたい」と話す女子生徒がいた。周囲の助言などあったのか尋ねると、自らの意志で決めたという。

「人を助ける仕事で、その姿がカッコいい」と続けた。

ずっと抱き続けてきた消防士になる夢は今も変わらないようだ。眼を輝かせて語る十代がたくましくみえた。

新築の匂いに包まれた署内は、女性が働きやすい環境に整えられていた。

命を助ける仕事を希望する若き世代が増えるように、これからも現場の生の声を発信し続けていただきたいと思う。

千葉県男女共同参画地域推進員

石川真由美さん

私たちは、地域推進員として素敵な外観の消防署を訪問してきました。

親しみやすく安心感を与える外観ですが、中の施設やソフト面が気になっていました。何より大切な相談窓口の設置や女性職員の活躍推進に向けた意識改革のための研修

を行っているとのことでした。

日々多忙な中、女性を受け入れるために体制を整えてくださっていることに、感謝の思いでいっぱいになりました。

帰り道、横芝敬愛高等学校の女子生徒さんの「消防署を見学して、ちょっと興味を持ちました」という言葉に、消防の未来は明るいな！と感じることができ、素敵な一日になりました。



横芝消防署視察に参加したみなさん(後列左端が伊藤さん、後列右端が石川さん)